

複合機・プリンター

同時提案商材、機能

TASKalfa 5551ci x2台

スリーCチャージ保守

社名

業種

業務(導入部門)

本社/支社

Eケアサービス

介護事業

事務所内

事務所

？お客様のお困りごと？



今の複合機なんだけど、2台で数万枚あるから、どうしても印刷コストが高くなってしまふ。特にカラーは高いね。契約社員が多くて、雇用契約書なんかは印鑑部分だけカラーだったりするんだけどなあ。



それなら、いま当社でご紹介中の新保守サービス「スリーCチャージ方式」をおすすめします！
今までは、モノクロとカラーで1枚当たりの単価が設定されているだけでしたが、この方式は、カラーの単価が印字トナーの使用量で3段階に分かれていますので、印鑑部分のみ赤等のワンポイントカラーの印刷単価など、これまでよりずっとお安くなることができます。一度試算してみませんか？

★解決！Kyocoちゃん★

＜提案イメージ＞

Before



従来のカウンター保守
・保守基本料
・カラー xx円
・モノクロ xx円

TASKalfa 552ci
TASKalfa 520i



After



新しいスリーCチャージ保守
・保守基本料
・カラー
低印字 xx円、中印字 xx円、
高印字 xx円
・モノクロ xx円

TASKalfa 5551ci x2

低印字→



“ちょっとカラー”の印刷も安心！



↑高印字



今回のBEST PRACTICEポイント

「お客様のお困りごと」

- ・月々の印刷量が多くて、コストが結構かかっている。
- ・雇用契約書など、基本文章のみで、部分的にカラー(ワンポイントカラー)の文書も多い。

「解決のポイント」

- ・スリーCチャージ方式により、ワンポイントカラーの印刷が安くなること、工夫次第でコスト削減できることに共感して頂けた。
- ・3段階のレベル判別が自動で行われるので、これまでのモノカラーでドライバー切替等の煩わしさもなくなる。

＜提案のワンポイントアドバイス＞

新しい保守形式での自社リプレース事例です。当社の複合機には、他社にないカラーカウント方式を搭載しています。それが、スリーCチャージ方式になります。“スリーC”とは、Color(カラー)、Coverage(カバレッジ)、Counter(カウンター)の略で、カラーのカバレッジ(印字率)でカウンターを取れる、という意味になります。従来のカウンター方式では、他社を含め、カラー単価は1つしか設定できませんでした。一部では、印鑑付の文書を2色カラーとして、赤黒の単価を設定しているケースもありますが、それも限定された利用に限られていました。スリーCチャージ方式では、カラーの「印字率」をベースに、低・中・高で分けるため、例えフルカラーでも、印字率が低ければ、安い単価で印刷することができます。今後の更なる厳しい価格競争の中で、よりお客様に満足頂くためには、お客様の出力環境に合わせたサービスや価格設定が必要になります。また、エコプリントなどによっても印字率は変わりますので、お客様の努力によって、印刷コストを下げることもできます。お客様と一緒にコスト削減を考えることで、お客様とより深い関係を作っていきましょう。

複合機・プリンター

同時提案商材、機能

TASKalfa 2551ci

スリーCチャージ保守

社名

業種

業務(導入部門)

本社/支社

〇株式会社

電気工事業

事務所

(本社)

？お客様のお困りごと？

今利用中のA2機、KM-4075Wだと、よく使う赤黒印刷がモノクロと同じカウンター料金なので重宝している。京セラのA3複合機だと、2色印刷はカラーカウントになるんだよね？A2もたまに印刷するし、A2カラー複合機はない・・・？ないか・・・



確かに、カラーのA2機は無いですが、A3カラー機の増設という解決策があります。確かに、京セラ複合機はPCからの2色印刷がカラーカウントになりますが、新機種なら、カラー印字率で単価が変わる「スリーCチャージ保守」の利用が可能です。赤黒印刷なら、A3機でもお安くご利用頂けますよ！

★解決！Kyocoちゃん★

＜提案イメージ＞

A2は

既存A2機
KM-4075Wで



こちらが
メイン！

A3は



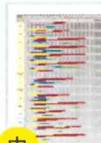
増設A3機 TASKalfa 2551ciで

スリーCチャージ保守方式

「カラーの印字率」によって単価が違う！
(黒トナー印字率はレベルに影響しない)

POINT !

設置報告書



赤黒に限らず
ワンポイントカラーも
安くなる

今回のBEST PRACTICEポイント

※表記単価は本事例の顧客単価です。競合や顧客状況に応じて設定下さい。

「お客様のお困りごと」

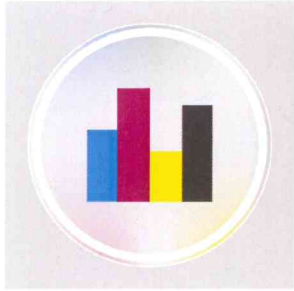
- ・カラー複合機が欲しい。(できればA2機が良いが、他社含め、要望にあうサイズ/スペックのものが無い)
- ・既存A2機(KM-4075W)では、赤黒2色印刷をよく利用していたが、A3複合機だとカラーカウント扱いとなり割高になる。

「解決のポイント」

- ・A3複合機TASKalfa 2551ciを「スリーCチャージ保守方式」にてご提案。カラーの印字率別に単価が変わるため、比較的低印字率と予測される、「赤黒(2色)印刷」を多数出力したいお客様の要望と一致し、即決。
(R社大手代理店競合排除)(KM-4075Wは据え置き。広幅サイズの出力に利用。メイン出力は、TASKalfa 2551ci)

＜提案のワンポイントアドバイス＞

今回は、A2複合機の「赤黒印刷」を利用されているお客様へのご提案です。(若干のA2出力用途があったため、A2機を据え置き、A3機を増設)お客様がご指摘のように、京セラのA3カラー複合機では、2色orモノカラーの「コピー」に対するカウント単価設定はありますが、「プリント」は別途設定が無く、フルカラーでカウントされます。しかし、新保守方式「スリーCチャージ」では、カラーの印字率によってレベル1から3まで単価を段階的に設定できますので、今回のような場合、例えば、レベル1(低印字率カウンター)を、従来のA2機の単価に近づけることで、A3複合機での2色プリント利用のハードルが低くなります。(※ちなみに、A2機の赤黒印刷の場合は、通常、赤トナーの購入が別途必要。カウンター料金+αの印刷コストがかかっています)また、他社A3複合機では、「2色プリント」利用に対し、フルカラーより割安なカウンター単価を設定できるメーカーもあり、ここを「京セラとの違い」とPRしていることがあります。逆に、カラー印字率に応じて段階的に単価設定ができるのは京セラだけとなりますので、自分たちの土俵で勝負できるよう、レベル別単価の値決めを行ってください。



スリーCチャージ 商談支援ツール

Pocket IA

Pocket
Image
Analyzer

(iPhone/iPad用 カバレッジ予測アプリケーション)

商談時、お客様の実際の印刷物を使い、カバレッジを
その場で簡易測定。

よりすばやく具体的に、スリーCチャージのメリット訴求
ができるツールです。

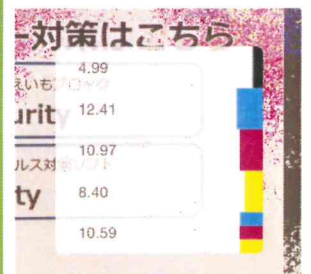
(1) 出力物に
カメラをかざす
or
PDFデータを
呼び出す



(2) 計測ボタンを
押す



(3) 予測結果が
表示される



【ご利用上の注意】

- ・ご利用可能な端末は、iOS 7.1以上の iPhone/iPadです。
- ・Pocket IA の予測値は、撮影環境、カメラ精度により変化します。複合機で計測する印字率との誤差が生じる点をご承知いただき、「参考値」としてご利用下さい。